

# コロナ禍におけるオンラインによる初年次セミナーの授業展開 —メディア学科の取組み—

皆川 武

(メディア学部メディア学科)

## Development of the First-Year Seminar Online Under the COVID-19 Pandemic : Efforts in Department of Media Studies

Takeshi MINAGAWA

(Department of Media Studies, Faculty of Media Studies)

本学では初年次教育として「フレッシュマンセミナー」が開講されており、各学科において授業を計画し、様々な方法で授業が実施されている。これまで、メディア学科では1年生春学期に開講する「フレッシュマンセミナー」と「情報活用演習I」の相互連携を取り入れて、情報活用能力やコミュニケーション力、プレゼンテーション技法を身に付ける授業を展開してきた。しかし、2020年度より新型コロナウイルスの影響により、これら授業を遠隔で実施することとなりオンラインによる授業の設計や展開の必要性が求められた。ここでは、2021年度におけるメディア学科の取組みとして、Zoomを利用したオンラインによる初年次セミナーの授業展開について報告する。これまでの対面授業時と同じ授業のねらい、クラス担任の体制を前提として、オンラインによるグループワークによるプレゼン発表や、授業後の学生に対するアンケート調査についてまとめる。

キーワード：初年次教育、フレッシュマンセミナー、情報活用演習、教材開発、コロナ禍

### はじめに

本学では初年次セミナーとして「フレッシュマンセミナー」や「ベーシックセミナー」が開講されており、各学科において授業を計画し、様々な方法で授業が実施されている。メディア学科においては、これまで春学期の「フレッシュマンセミナー」と「情報活用演習I」を相互連携させ、かつ、あらたに両科目共通で使用できるワークシートや教材を開発し、かつ両科目に関わる課題を提示することにより効果的な初年次教育を展開してきた(皆川ら、2015; 皆川, 2019)。

しかし、2020年以降の新型コロナウイルスの感染拡大により、多くの教育機関において遠隔授業が

実施されることとなった。本学においても遠隔授業で実施することが決定され、新入生に対する初年次教育においてもオンラインによる授業の設計や展開の必要性が求められた。また、2021年度においても、4月に発令された緊急事態宣言により、「フレッシュマンセミナー」も含めて、当初は対面授業で実施されていた複数の授業が第3週目以降は遠隔授業により実施されることとなった。

ここでは2021年度におけるメディア学科の取組みとして、Zoomを利用したオンラインによる「フレッシュマンセミナー」の授業展開について報告する。

## 1. 対面時における本学科「フレッシュマンセミナー」について

これまで対面時における本学科の「フレッシュマンセミナー」は、全ての学科教員（特任教員は除く）が1年生の担任となり、少人数クラスによる授業を実施してきた。具体的には、1年生を1クラス約25名で構成し、各クラスにつき2名の教員を担任として配置して、全6クラス（A～Fクラス）とした。また、各クラス2名の教員に対し、それぞれ約12名の学生を担任として受け持ち、個別面談や学生生活の相談や指導を行っている。

毎時間の教材については、フレッシュマンセミナー担当教員により、各クラスで内容や課題に差が出ないように、授業の内容に合わせた共通のワークシートを作成して各クラスの学生に配布している。ワークシートには、毎時間の学習目標や具体的な作業内容および課題が明示されており、学生が段階的に作業をすすめることができるよう構成されている。また、授業終了時に振り返りレポートを課し、期日までに各クラスのレポートボックスに提出するよう指示した。

授業方法は、大教室を用いた全体授業として履修指導や分野選択の指導を行い、クラスごとでは自己紹介や他者紹介、先輩学生の話、グループディスカッション、グループワークによるプレゼンテーションの準備作業からプレゼン発表会を実施している。その際、授業内容によっては授業開始時に学生と教員を大教室に集合させて、フレッシュマンセミナー担当教員により、当日の授業の目標や授業のながれ、授業時間内で使用するワークシートや課題について説明を行い、その後、学生と教員は各クラスに移動する手順とし、毎時間の授業目標を明確にして、共通の学習内容や課題のばらつきに対する学生の不満や不公平感を解消することをめざした。

本学科の「フレッシュマンセミナー」では、大学における受講の心得や、情報の収集整理、コミュニケーション技術やプレゼンテーション技法を高め、課題解決に向けた手順や論理的思考方法を学び、論理的主張のアプローチやプロセスなどを身に付けることをねらいとして、「フレッシュマンセミナー」と「情報活用演習Ⅰ」で学習する内容を整理し、こ

れら2科目を連携させながら実施してきた。筆者はこれまでも1年生を対象とした情報教育科目「情報活用演習Ⅰ」を担当しており、基本的なパソコンスキルの習得や、情報の収集、整理、分析及び発信など、パソコンを学習の道具として活用できる力を身に付けることを目標として授業を展開してきた。特に、これまで両科目で重複する目標や内容、またパソコンを利用して相互補完できるスキルなどに注目して、両科目共通で使用できるワークシートや教材を開発し、共通のプレゼンテーションやレポート課題を提示することにより、科目間で相互連携させながら授業を展開してきた（皆川ら、2015；皆川、2019）。

## 2. 学科における遠隔授業の全体方針

本学科では、2020年の新型コロナウイルスの感染拡大により、遠隔授業が開始される当初から、学科内でワーキンググループを立ち上げ、学科内で全体方針を定め運用を開始した（遠西ら、2021）。具体的には、学習管理システムをGoogle Classroomで統一し、教員の作業の軽減や学生の混乱を避けるようGoogleが提供するAPIを利用して、各授業に対応するクラスを一括で登録するなど授業への導線を確認することからはじめた。APIとは、Application Programming Interfaceの略であり、サービスを提供する側がソフトウェアの機能や仕様の一部を公開することで、他者が開発するソフトウェアと機能を共有可能とする仕組みである。

また、Google Classroomによるクラスの登録から教材へのアクセス方法や課題の提出方法から、GoogleドライブやZoomの利用方法などをまとめた学生用特設Webサイトを構築し、学生が円滑に遠隔授業を受講できるコンテンツを整備した。

遠隔授業における「フレッシュマンセミナー」については、Google Classroomを利用して学生への連絡や教材配布、課題提出等を行い、Zoomを利用したオンライン授業で行うこととした。

## 3. 遠隔授業における授業計画

本稿では2021年度春学期に実施した「フレッシュマンセミナー」について記述する。

本年度当初においては4月に発令された緊急事態

宣言により、「フレッシュマンセミナー」は第3週目以降は遠隔授業により実施されることとなったため、2020年度と同様にZoomを利用したオンライン授業の実施とした。具体的には、第2回目の授業（自己紹介）のみ対面授業で実施することができたが、それ以外の授業回については、一部当初の計画の順番等を入れ替えながら全て遠隔で実施した。2021年度の授業計画を【表1】に示す。これまでの対面授業時と同じ授業のねらい、クラス担任の体

表1 2021年度の授業計画

第1回 オリエンテーション、履修指導【Zoom】
・大学生として守るべき規範の理解と履修指導
第2回 コミュニケーション力を高める(1)【対面】
・自己紹介を通してコミュニケーション力を高める
第3回 コミュニケーション力を高める(2)【Zoom】
・他者紹介を通してコミュニケーション力を高める
第4回 大学における学びを考える(1)【Zoom】
・教員紹介を通して大学や学科における学びを考える
第5回 大学における学びを考える(2)【Zoom】
・先輩の体験談や先輩を交えたディスカッションを通して大学における学びを考える
第6回 大学における学びを考える(3)【Zoom】
・大学生生活をテーマとしたグループディスカッションの実践1
第7回 大学における学びを考える(4)【Zoom】
・大学生生活をテーマとしたグループディスカッションの実践2
第8回 プレゼンテーション全体説明(学科について学ぶ)【Zoom】
・プレゼンテーションに向けた学科に関する説明
第9回 グループワークとプレゼンテーション技法を学ぶ(1)【Zoom】
・プレゼンテーションの方針やポイントを考える、アイデアを整理する
第10回 グループワークとプレゼンテーション技法を学ぶ(2)【個別面談】【Zoom】
・プレゼンテーションの構成や情報収集の計画を立てる、調査、取材方法について
第11回 グループワークとプレゼンテーション技法を学ぶ(3)【個別面談】【Zoom】
・実際に調査や取材をして必要な情報を収集する
第12回 グループワークとプレゼンテーション技法を学ぶ(4)【個別面談(予備)】【Zoom】
・プレゼンテーションの準備作業、効果的なプレゼンテーション技法について
第13回 グループワークとプレゼンテーション技法を学ぶ(5)【Zoom】
・プレゼンテーションの最終準備とリハーサル
第14回 プレゼンテーション発表【Zoom】
・グループによるプレゼンテーションと教員による評価
第15回 総まとめ【Zoom】
・春学期を振り返り夏休みの過ごし方考える

制を前提として、Zoomを利用したグループディスカッションやグループワークによるプレゼン発表会を実施した。

#### 4. 教材開発と技術的支援

Zoomを利用したオンライン授業による「フレッシュマンセミナー」の教材は、対面時に利用していたワークシートを提示した【図1】。対面時に利用していたワークシートを遠隔授業に合わせて必要箇所のみを改編し、PDF形式で保存してGoogle

9

プレゼンテーション準備(グループワーク)

これから数週間にわたりプレゼンテーションのためのグループワークを行います。まずはテーマについて深めていこう

---

確認
今回の目標

大学や学科の特徴や役割について理解を深め学科における今後の学びを考えよう  
グループワークを通して協調性やコミュニケーション力など他者と協力して活動するための基礎的な能力を身に付けよう

---

確認
授業のなかれと時間配分

**ワーク(1)** グループに分かれて進め方と役割のポイントを確認しよう ① 10分程度

**ワーク(2)** 各テーマに沿ってグループでディスカッションをしよう

- 1) 進行役、発表役の役割を分担しましょう
- 2) 次のテーマをもとに各グループ内でディスカッションしよう ① 15分程度  
**テーマ①** 高校生が知りたいこと = 高校生だったころの視点からディスカッションしよう  
 自分たちが学科に入学した理由や、高校生のとき学科を選ぶときについて知っていたことや不安だったことをできるだけ書き出そう
- 3) 続けて、次のテーマをもとに各グループ内でディスカッションしよう ① 15分程度  
**テーマ②** 高校生に伝えたいこと = メディア学科学生の視点からディスカッションしよう  
 実際にこれまで授業を受けてみた印象やこれから学科で楽しみにしていること、今後の授業やカリキュラムについて知っていることや知らないことを整理して、プレゼンを考える上で特に高校生に伝えたいと思うポイントをできるだけ書き出そう

**ワーク(3)** ポイントをさらに深めよう  
グループで書き出した情報をもとに、複数のポイントからさらに深めていこう ① 15分程度  
集約した情報について、その根拠を含めて各グループの発表役が1分で発表しましょう

**課題**：次回までに調査する内容を分担しよう ① 5分  
次回授業までに調査報告書をまとめて持参しよう

---

確認
次回のフレッシュマンセミナー

次回：フレッシュマンセミナーはZoomを利用します。  
学生のみなさんは、後日、提示される日程に従い、指示されたミーティングIDとPWで参加してください。(詳細はClassroomでお知らせします)

9-1 | フレッシュマンセミナー

ワーク(2)
各テーマに沿ってグループでディスカッションをしよう

💡 **視点** | 2つの視点(高校生の視点とメディア学科生の視点)で考える(一方向の視点だけでは物足りない)

プレゼンや企画を考えるときは、自分たちの視点だけでなくターゲット層の視点から検討することが重要です。今回は高校生がターゲットです。ここでは、高校生の視点とメディア学科生としての視点、2つの視点から考えてみよう。

1. 進行役、発表役の役割を分担しましょう  
 ディスカッション時間: .....分 残り.....分で意見集約  
 進行役 ..... 発表役 .....
2. 次のテーマでディスカッションしよう ① 15分  
**テーマ①** 高校生が知りたいこと = 高校生だったころの視点からディスカッションしよう  
 自分たちが学科に入学した理由や、高校生のとき学科を選ぶときについて知っていたことや不安だったことをできるだけ書き出そう

ヒント：自分がメディア学科を選択した理由は？ 将来の夢をかなえることとメディア学科に入学したこととの関連は？  
 高校生のとき学科を選ぶとき知っていたことは？ 逆に不安だったことは？ 他大学や専門学校と比較する点はどこにある？ などなど

視点を変える

9-5 | フレッシュマンセミナー

図1 ワークシート例



Classroom からダウンロードできるよう設定した。ただし、学生はパソコン上でワークシートに直接書き込むことができないため、ワークシートの項目に合わせて別途自身のノート等に書き込むなどで対応するよう指示をした。

また、Google ドライブの利用や Google フォームの利用、Google フォームに Word ファイル等を保存して提出する方法など、必要となる基本的な技術的支援は、「情報活用演習 I」の授業内で、学生用特設 Web サイトを教材として使用しながら学習した。「フレッシュマンセミナー」のプレゼンテーションの準備等で必要となる PowerPoint の基本操作やスライド資料の作成等も「情報活用演習 I」の授業内で学習するなど、これまでと同様に「フレッシュマンセミナー」と「情報活用演習 I」の授業連携ができるよう、両科目の授業計画を調整した。

## 5. 学生への事前連絡と各クラス担任間の連携

### (1) 学生への事前連絡

各回の授業では当回の授業に参加するための Zoom の ID や質問用メールアドレスを、前日に Google Classroom から学生に通知した。その際、全体で実施する場合は全体の Zoom の ID、クラスで実施する場合は各クラスの Zoom の ID の一覧を提示した。具体的には全体やクラスの Zoom の ID 等をまとめた Google スプレッドシートを教員および学生と共有し、その URL を提示した。

また、事前連絡の際、クラスで実施する場合は「〈重要〉みなさんは授業開始よりカメラとマイクをオンにして参加できるよう、事前に準備をお願いします。」と提示することにより、授業時間はカメラとマイクをオンにすることを必須として授業に参加するよう促した。

### (2) 各クラス担任間の連携

毎時間前にフレッシュマンセミナー担当教員より、各クラス担任宛に次回の授業についてメールで事前連絡を行った。その際、Google ドライブ内にフレッシュマンセミナー用のフォルダを作成・共有し、毎回「Zoom の ID」「資料、課題提出、学生への事前連絡等」「授業のながれ」「課題提出」「授業

終了時に学生に伝える事項」等の説明資料を保存して、各クラスにおける授業内容や課題について統一するよう準備した【図2】。また、Google フォームに提出された各学生の情報を Google スプレッドシートで保存して、課題提出や出席管理の補助を行った。

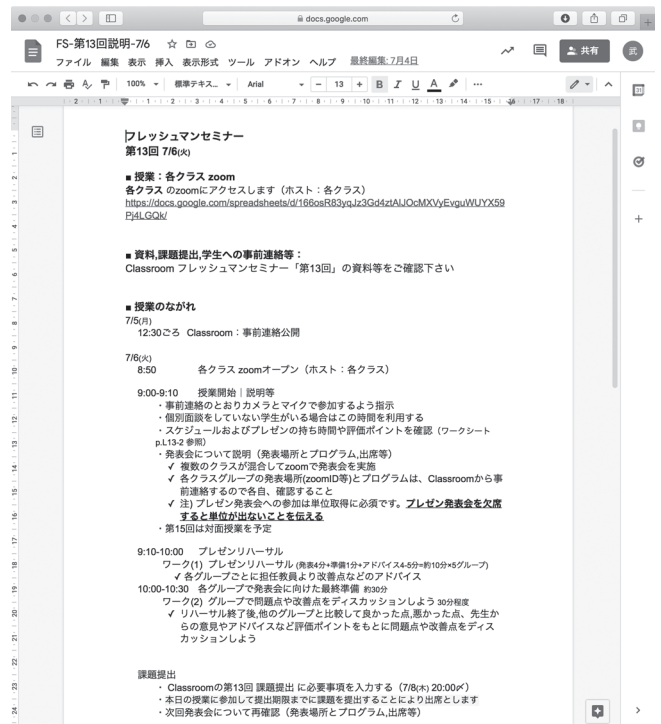


図2 教員への事前連絡

## 6. 授業の実施

本年度は【表1】に示した通り授業を実施した。ここでは対面で実施した第2回目の授業以外で、Zoom によるオンライン授業で実施した授業回について記述する。

### (1) 全体授業の実施

第1回目と第4回目は全体で Zoom による授業を実施した。第1回目は全体の授業としてオリエンテーションおよび履修指導を実施した。新入生にとっては、パソコンや Zoom の利用に不慣れであることや、自宅の通信環境によりアクセスが困難となる学生に対しては、共通の質問受付窓口として、前述したワーキンググループメンバーを中心としたメーリングリストのアドレスを提示して、学生からの問い合わせに対応した。また、全体で Zoom によ

る授業を実施する場合は、ワーキンググループメンバー間で役割を分担し、ホストとして Zoom を立ち上げることから途中参加の学生への対応、メーリングリストによる学生の質問への回答と指示、全体授業の進行などを協力しながら授業をすすめた。

第4回目は大学や学科における学びを考えることや学生に学科教員を知ってもらうことを目的として、全体で Zoom による教員紹介を行った。

## (2) ディスカッション形式の授業の実施

第3回目は、学生間の交流やコミュニケーションを深めることを目的として他者紹介を行った。第3回目は各クラスの Zoom に集合するよう指示し、各クラスの Zoom で学生2名（端数がでる場合は3名）ずつブレイクアウトルームに参加させ、ワークシートに従いながら他者紹介のストーリーをまとめることからはじめた。その後、クラスの学生全員をメインルームに集合させて、学生全員の前で順番に他者紹介を行った。授業終了後に、提出期限までに Google フォームから振り返り課題を提出するよう説明し、本授業への参加と期限までに課題を提出することにより出席とすることを指示した。

第5回目から第7回目は Zoom を利用してグループディスカッションを実施した。第5回目は各クラス担任のゼミ生を先輩学生として参加してもらい、これまで学習したことやゼミの活動、学生生活に関するアドバイスなどを話すよう指示し、大学生活に関する事項をテーマにしたグループディスカッションを実施した。その際、先輩学生も一人ずつ各グループのグループディスカッションに参加してもらい、はじめは進行役として1年生に手本を示し、2回目のディスカッションでは1年生が進行役として、先輩学生は助言役に回るよう指示した。第6回目は各クラス1年生のみでグループディスカッションを実施し、第7回目は A-F クラス混合でグループ分けを行い、各学生は指示されたクラスの Zoom に参加して、グループディスカッションを実施した。

これらグループディスカッションにおいても、各クラスの Zoom で5、6名ずつブレイクアウトルームに参加させ、学生はワークシートに従いながらグループディスカッションを行い、その後、クラスの学生全員をメインルームに集合させて、学生全員の

前で順番に発表する手順で行った。

## (3) グループワークの実施

授業後半から「高校生にメディア学科の魅力を紹介しよう」というテーマにより各グループでプレゼンテーションの準備から発表を行った。

第8回目はその前段階として、学科の特徴や授業内容について理解を深め学科における今後の学びを考えることを目的として、全体授業で講義を実施した。メディア学科の概要やメディア学、社会連携について、分野、ゼミ、インターンシップ、就職、マルチメディア演習室やスタジオ設備、今後の授業におけるプレゼン準備や発表方法のポイントなど、前述のワーキンググループの教員を中心として他教員の協力を得ながら授業をすすめた。

第9回目から第12回目にかけて、各クラスでグループ分けを行い、ワークシートに従い、プレゼン発表会に向けた準備を行った。学生は、同時に「情報活用演習 I」において、PowerPoint の基本操作やプレゼン資料の作成ポイントなどを学習し、補足として Google ドライブでファイル共有の方法や、ひとつのファイルを共有しながら共同編集する方法のマニュアル等の教材を整備した。

## (4) 個別面談の実施

第10回目から第12回目はプレゼン発表会に向けたグループワークと同時に、学生一人につき10分で個別面談を実施した。個別面談は、各クラスの Zoom でグループごとにブレイクアウトルームで作業をさせながら、教員2名のうち1名はメインルーム、他1名は別途ブレイクアウトルームに移動するなど、各教員のルームを準備することからはじめた。個別面談は、学生自身でブレイクアウトルームを自由に移動できる Zoom の機能を利用して、各グループのブレイクアウトルームから各教員のルームに、学生自身でひとりずつ順番に移動するよう指示した。

## (5) プレゼン発表会の実施

第13回目は各クラスでプレゼンリハーサルを実施し、第14回目にプレゼン発表会を実施した。これまで対面授業においても、複数のクラスのグルー

プが混合して発表会を実施していたため、Zoom によるオンライン授業においても同様に実施した。具体的には、事前にクラス混合になるようグループ分けを行い、4つのブレイクアウトルームの会場に分けて、各学生は指示された会場の Zoom に参加してプレゼン発表会を実施した。各会場には教員3名と7または8グループの学生が参加し、各会場で発表会を実施した。各会場で全てのグループの発表終了後に、Google フォームを利用して教員による評価(5点満点)を入力して、その場で集計を行い順位を発表した。

第15回目は各クラスで、Zoom による1分間スピーチと総まとめを行った。

## 7. 評価

第15回目の授業終了後に Google フォームを利用してアンケート調査を実施した [有効回答数: 148名]。アンケートを実施するにあたり、事前に調査目的や利用方法、個人情報への遵守および成績とは無関係である旨を Zoom により全体に口頭で説明すると同時に、Google フォームの前文として同様の文章を記載し、同意する場合は回答するよう指示した。

### (1) 授業に関するアンケート

授業に関する質問は、各質問項目について「とてもそう思う」「そう思う」「どちらともいえない」「そう思わない」「全くそう思わない」から選択させた。授業に関するアンケート結果を【図3】に示す。以下、各質問項目の結果のうち「とてもそう思う」「そう思う」の割合の合計値を(計〇%)と記述する。

[授業は受講目的に合っていましたか] については「とてもそう思う」49.3%、「そう思う」45.9% (計95.2%) であり、[演習の内容は理解できましたか] については「とてもそう思う」43.9%、「そう思う」51.4% (計95.3%) であった。また、[演習の内容は今後役に立つと思いますか] については「とてもそう思う」67.6%、「そう思う」27.0% (計94.6%)、[演習後の達成感がありましたか] については「とてもそう思う」56.5%、「そう思う」36.1% (計92.6%)、[演習の課題に積極的に取り組みましたか] については「とてもそう思う」52.7%、「そう思う」33.1% (計85.8%) であった。これらの項目について学生から

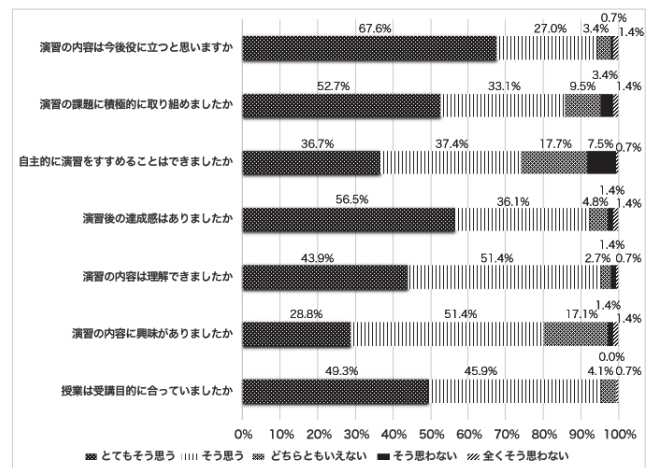


図3 授業に関するアンケート結果

は高い評価を得たことから、Zoom を利用したオンライン授業においても本授業のねらいや達成感を満たし、積極的に授業に取り組むことにより、今後の「大学での学び」につながる初段階の学習と動機付けに有効であることが示された。

しかし、「自主的に演習をすすめることはできましたか」については「とてもそう思う」36.7%、「そう思う」37.4% (計74.1%)、「演習の内容に興味がありましたか」については「とてもそう思う」28.8%、「そう思う」51.4% (計80.2%) であり、概ね高い評価を得ているが、学生の興味を引き出して、自主的な授業への参加を促す工夫を講じる余地があるとも考えられる。

次に「プレゼンの準備はスムーズにすすめることができましたか」としては「とてもそう思う」24.3%、「そう思う」42.6% (計66.9%)、「どちらともいえない」24.3%、「そう思わない」8.1%、「全くそう思わない」0.7% であり、「プレゼンの準備はどのようにすすめましたか。準備の方法や難しかったことなどを具体的に教えてください」について自由回答としたところ、「LINE を交換しその中で意見交換した」や「LINE のグループを作り授業時間外でも話を進めた」「授業時間外にメンバーと会ってプレゼンの準備を進めた」など、LINE グループを作成してメンバーとやりとりすることや、他授業で対面方式の授業時間で大学に来た際に準備を行うなど、学生間で工夫しながら準備を実施していることがわかった。しかし、対面授業が実施されている場合は、授業時間外で作業する時間を容易に確保で



きるが、Zoom によるオンライン授業では、授業時間外にグループワークできる環境の提供や方法の事例の提示も含めて、教員側から情報を提供することも重要であると考えられる。

## (2) Zoom の利用に関するアンケート

次に Zoom の利用に関するアンケート結果を【図4】に示す。

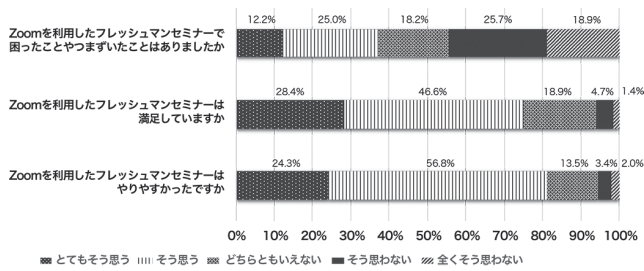


図4 Zoom の利用に関するアンケート結果

[Zoom を利用したフレッシュマンセミナーはやりやすかったですか]については「とてもそう思う」24.3%、「そう思う」56.8%（計81.1%）であり、「どちらともいえない」13.5%、「そう思わない」3.4%、「全くそう思わない」2.0%であった。[Zoom を利用したフレッシュマンセミナーは満足していますか]については、「とてもそう思う」28.4%、「そう思う」46.6%（計75.0%）であり、「どちらともいえない」18.9%、「そう思わない」4.7%、「全くそう思わない」1.4%であった。これらのことから、Zoom を利用したオンライン授業による方法については抵抗感が少なく、約3/4の学生が満足しているとの回答を得た。

[Zoom を利用したフレッシュマンセミナーで困ったことやつまづいたことはありましたか]については「とてもそう思う」12.2%、「そう思う」25.0%（計37.2%）、「どちらともいえない」18.2%、「そう思わない」25.7%、「全くそう思わない」18.9%であり、約4割弱の学生が困ったことやつまづいたことがあったと回答した。関連する質問として [Zoom を利用したフレッシュマンセミナーで困ったことやつまづいたことがあれば、具体的に教えてください] について自由記述としたところ、「コミュニケーションの難しさを感じました」「コミュニケーションが取りにくかった」「グループでの話し合いは対面の時よりもさらに意見を出しにくいと感じた」「聞いて

かけても反応がない時があった」などコミュニケーションに関する困難さや、「資料を共有することが初めてで難しかったです」「通信環境・ラグ」「回線が悪くて先生の話の聞けないところがあったこと」「パソコンが苦手なのでうまくできなかったこともあった。」など、自宅の回線やパソコン操作など技術的な面でつまづいたことがあるとの記述があった。

[逆に Zoom を利用したフレッシュマンセミナーでよかったことがあれば、具体的に教えてください] について自由記述としたところ、「対面だと緊張してしまうことも Zoom だとその緊張が半減されたこと」「私は人見知りで内気な性格だったりするので私にとってはやりやすかったです」「Zoom を使って顔出しをすることで自然に話せた。」「面と向かってだと話せなくても Zoom ならそこまで緊張せずにできた」など、学生によっては Zoom を利用したオンラインによるコミュニケーションの方が緊張感を緩和する効果があることも示された。

## (3) 授業方式に関するアンケート

本年度の「フレッシュマンセミナー」は Zoom によりオンライン授業で実施したが、学生が望む授業方式に関するアンケートを実施した。アンケート結果を【図5】に示す。

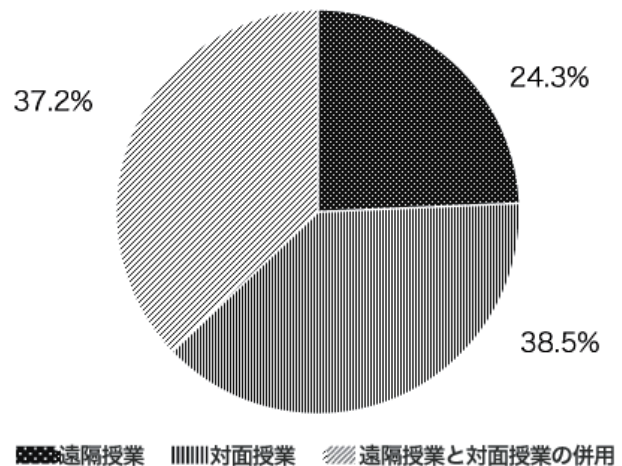


図5 授業方式に関するアンケート

[もし、もう一度フレッシュマンセミナーを受講するとしたら、授業方法はどれがよいですか] について、「遠隔授業」「対面授業」「遠隔授業と対面授業の併用」から選択させた。結果は「遠隔授業」

24.3%、「対面授業」38.5%、「遠隔授業と対面授業の併用」37.2%であり、約 3/4 の学生が対面授業または遠隔授業と対面授業の併用を望んでいる事が示された。また、「その理由を教えてください」について自由記述としたところ、選択項目のうち「遠隔授業」を選択した学生では、「家が遠いので遠隔だとメリットが多いからです」「通学時間が長いため」「家が遠いので遠隔だとメリットが多いから」「早起しなくてよいから」「朝学校に向かうための時間削減できるため」など時間や距離的なことを理由としている学生が多く、「全員の顔が見れる」「ランダムで様々な人と交流できるから」など、Zoom の画面表示機能やブレイクアウトルームのランダム機能によるグループ分けの簡便さなど、Zoom の機能や特性を評価している意見もあった。

選択項目のうち「対面授業」を選択した学生では、「相手の様子がわかるから」「対面の方がともだちとのコミュニケーションが取りやすいと思うから」「みんなに会いたい」「面と向かって話した方が意見を出しやすい」「対面の方が仲良くなれそうだから」など、交流やコミュニケーションをとることに重点をおいた意見が多く、「遠隔授業と対面授業の併用」を選択した学生では、「グループディスカッションのような場合は対面のほうがよいが、先生の一方的な講義の場合は遠隔でもよいと思った」「プレゼンや自己紹介は対面授業がよいと思いました。しかし履修に関する説明など全体で説明を受けるのは遠隔授業のほうがあっているなと思いました」「全体の授業などは遠隔でも特に不満はなかったので、グループディスカッションの際だけでも対面にしてほしいです」など、全体の講義などは遠隔授業でもよいが、グループディスカッションやプレゼンなどは対面による授業を望んでいることが示された。

## おわりに

本稿では、2021 年度におけるメディア学科の取組みとして、Zoom を利用したオンラインによる「フレッシュマンセミナー」の授業展開について報告した。本学科では対面授業時と同じ授業のねらい、クラス担任の体制を前提として、Zoom を利用したオンライン授業を実施した。授業後の学生のアンケートより、Zoom を利用したオンラインによる授業に

においても本授業のねらいや達成感を満たし、積極的に授業に取り組むことにより、今後の「大学での学び」につながる初段階の学習と動機付けに有効であることが示された。

Zoom を利用したオンライン授業による方法については、抵抗感が少なく、学生によっては Zoom によるコミュニケーションの方が緊張感を緩和する効果があることが示されると同時に、多くの学生が遠隔授業だけではなく対面授業を望むことも示された。本年度の Zoom を利用したオンラインによる「フレッシュマンセミナー」の取組みは、一定の成果をあげたと捉えることができるであろう。しかし、「フレッシュマンセミナー」は、学生同士の交流のはじまりに位置する科目であることから、今後は、学生に置かれた状況も踏まえて対面授業と遠隔授業の特徴や利点を活かした授業方法や授業計画をめざして、より効果的な学習ができる授業展開をめざす必要があるだろう。

## 《引用文献》

- 皆川武 (2019) 「科目間の連携を取り入れた初年次教育の取り組み —フレッシュマンセミナーと情報活用演習の相互連携をめざして—」『初年次教育学会第 12 回大会発表要旨集』, 110-111.
- 皆川武・西村明也・西尾典洋・溝尻真也 (2015) 「メディア表現学科における科目間の相互連携を取り入れた初年次教育の展開とその課題」『目白大学高等教育研究 第 21 号』, 103-111.
- 遠西学・皆川武・西尾典洋・顧優輝・彦坂和里 (2021) 「メディア学科における Google Classroom を利用した遠隔授業の運用」『目白大学高等教育研究 第 27 号』, 29-37.
- (受付日：2021年10月31日、受理日：2022年1月17日)